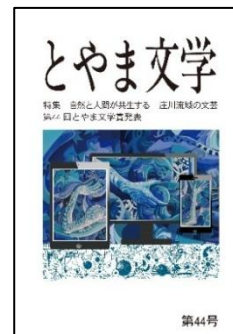


第45回(令和8年度)

# とやま文学賞 作品募集



小説・文芸評論・児童文学・随筆・詩・短歌・俳句・川柳

■ 応募締切 / 令和8年9月30日(水) (消印有効)

■ 応募資格 / 富山県在住・在勤・在学者、及び本県に居住したことのある方

■ 募集作品 / 文学に関する未発表の作品に限る (詳細は裏面)



選者(短歌・俳句・川柳)

かわもと こうじ  
**川本 皓嗣** 氏

日本学士院会員  
学術博士(比較文学)  
比較詩学・比較文化論専攻

日本学士院会員、東大名誉教授、国際比較文学会名誉会長、正岡子規国際俳句賞選考委員。著書に『日本詩歌の伝統一七と五の詩学』(サントリー学芸賞、小泉八雲賞)、『アメリカの詩を読む』、『対訳 フロスト詩集』、『俳諧の詩学』(ドナルド・キーン賞大賞)、『新編 イギリス名詩選』(いずれも岩波書店)、共編著に『アメリカ名詩選』、『芭蕉解体新書』など。主として東西の詩と詩学、文学理論などを研究対象とし、フランス近代詩象徴詩から、イギリス、アメリカ、日本、中国の詩まで、「詩とは何か」という視点から「詩と詩学」に関する論文を多く発表している。



選者(小説・評論・児童文学・随筆・詩)

たなか かずお  
**田中 和生** 氏

文芸評論家

文芸評論家、法政大学文学部日本文学科教授。1974年富山県生まれ。慶應義塾大学経済学部および文学部卒業。2000年、評論「欠落を生きる—江藤淳論」で第7回三田文学新人賞(評論部門)を受賞し、文芸評論家として出発。2006年より法政大学文学部に着任、現在に至る。教育活動と並行し、2006~2014、2024年三田文学新人賞選考委員、2009~2011年『群像』新人文学賞選考委員、2010~2022年織田作之助賞選考委員、2025年より永井荷風新人賞選考委員を務める。著書に『江藤淳』、『新約太宰治』、『吉本隆明』などがある。

『とやま文学』Web サイト

<https://pat.or.jp/toyama-bungaku/>

文学賞募集要項、バックナンバー等掲載



〈お問い合わせ先〉 富山県芸術文化協会事務局 〈とやま文学賞〉係

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

TEL 076-441-8635(内線 123) Eメール [info@pat.or.jp](mailto:info@pat.or.jp)

主催 (一社)富山県芸術文化協会 富山県

後援 **NHK**富山放送局 富山県教育委員会 (公財)富山県文化振興財団

# 第45回(令和8年度) 募集要項

# とやま文学賞

(一社)富山県芸術文化協会では、総合文芸誌『とやま文学』を創刊(1982年)以来、〈とやま文学賞〉を設けております。文学に関するすぐれた創作活動および研究の成果を選奨紹介し、特に気鋭の新人に発表の場を与えることをねらいとして創設された賞です。

- **応募資格** 富山県在住・在勤・在学者、及び本県に居住したことがある方(年齢等不問)
- **応募規定** 文学に関する未発表の作品に限る。

部門	枚数 400字詰(20字×20行)	部門	作品数
小説(戯曲を含む)	30枚以上 50枚以内	詩	3編以内
文芸評論		短歌	30首
児童文学	30枚程度	俳句	20句
随筆	5枚から 10枚程度	川柳	20句

## ■ 応募方法

郵送(データ送信不可)

※応募作品であることを明記してください。応募原稿はお返しいたしません。

作品の原稿には、必ず部門・作品名(ふりがな)、氏名(ふりがな)を記載してください。

ペンネーム可。短詩型(短歌・俳句・川柳)についても作品名は必須です。

郵便番号、住所、氏名(ペンネームの場合は本名も記載)、生年月日、電話番号、職業、略歴を付記してください。県外在住者で富山県に居住したことがある方は、居住した県内の市町村名および出身地を明記してください。(連絡先は、入賞時に報道に情報提供することがあります)

<応募先>

(一社)富山県芸術文化協会事務局 〈とやま文学賞〉係  
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

- **応募締切** 令和8年9月30日(水) (消印有効)
- **選考** 地元選考委員が幅広い観点から入賞候補作の選定を行った上で、選者が選考します。
- **賞** とやま文学賞  
正賞(青山三郎氏制作木彫刻像)および副賞 10万円(受賞者総額)を贈呈  
佳作(若干名) 記念品を贈呈
- **発表** 『とやま文学』第45号(令和9年3月発刊予定)に掲載発表